

平成21年度大阪府連携セミナー

人間社会学部

授業公開

講座(前期)



大阪府立大学
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

【 授業公開講座(前期講座) 】

| 講座番号 | 曜日 | コマ | 講 座 名 | 講 師 | 定員 | 開講日 |
|------|----|----|--------------|-------|----|-------|
| 1 | 月 | 2 | 西洋思想の系譜2A(※) | 中村 治 | 5 | 4月13日 |
| 2 | | 3 | 神経生理学(※) | 角田 茂 | 5 | |
| 3 | | 4 | フランス文学の世界1 | 村田 京子 | 15 | |
| 4 | 火 | 3 | 日本書誌学A | 西田 正宏 | 10 | 4月14日 |
| 5 | | 3 | 日本古代文学A | 村田右富実 | 5 | |
| 6 | 水 | 4 | 現代文学思想A(※) | 萩原 俊治 | 15 | 4月8日 |
| 7 | 金 | 1 | 教育の思想と歴史 | 小股 憲明 | 15 | 4月10日 |
| 8 | | 4 | 文化形成論入門4 | 萩原 弘子 | 5 | |

1コマ： 9時00分～10時30分 2コマ： 10時40分～12時10分

3コマ： 12時55分～14時25分 4コマ： 14時35分～16時05分

各講座の教室は事前説明会の時にお知らせします。

(※)は、後期も開講予定ですが、申込みについては前期その講師の講座を受講された方のみ可能。

【講座概要】

講座番号：1 「西洋思想の系譜 2 A」 中村 治 教授

リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」などを読むことにより、キリスト教と環境問題の間にどのような関係があると指摘されているのかを見たうえで、その指摘が妥当かどうかを、「創世記」に関するアウグスティヌスやトマス・アクィナスの解釈、ニコル・オレーム、フランシス・ベーコン、デカルト、ホップスなどの思想を検討することによって考察し、キリスト教と環境問題の関係について考える。

授業は以下のように進める予定である。 1. リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」。 2. リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」。 3. リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」。 4. 聖書の「創世記」。アウグスティヌスの『告白』。 5. アウグスティヌスの『告白』。 6. トマス・アクィナスの『神学大全』。アリストテレスの『靈魂論』。 7. ニコル・オレームの『質と運動の図形化』。 8. フランシス・ベーコンの『ノウム・オルガヌム』。 9. デカルトの『方法序説』。 10. J.ギャンペルの『中世の産業革命』。 11. J.ギャンペルの『中世の産業革命』。 12. キース・トマスの『人間と自然界』。 13. キース・トマスの『人間と自然界』。 14. 都市と農村の循環の問題。 15. 水の問題。

講座番号：2 「神経生理学」 角田 茂 教授

生命が地球上に誕生し、単細胞生物、多細胞生物、そしてヒトへと進化していく過程で、細胞間における情報伝達を有機的に統合するため、驚異的に発達したのが神経系であります。本講義では、近年飛躍的に進歩した脳科学の知見をもとに、細胞レベルから固体レベルに至るまでの、神経系の働きについて講義します。特にヒトの脳に関しては、その解剖および記憶や睡眠などのメカニズムについて個々に解説します。

講座番号：3 「フランス文学の世界 1」 村田 京子 教授

「社会小説に現れる娼婦像」

19世紀フランス・ロマン主義文学において、「娼婦」は重要な位置を占めています。そこには恋人のために身を犠牲にする「椿姫」のような女性や、相手の身を滅ぼす「魔性の女」も登場します。19世紀後半からは貧困に喘ぐ人々を社会の犠牲者とみなし、博愛主義的な立場に立って社会を改善していくとする「社会小説」が出現します。本講座では19世紀当時の女性労働者がどのように娼婦に転落していくのか、その過程を「社会小説」を通して辿っていきたいと思います。取り上げる作品はウージェーヌ・シューの『パリの秘密』とヴィクトル・ユゴーの『レ・ミゼラブル』などです。この講座は、フランス語の知識がなくても受講できますが、授業で取り上げる作品を翻訳（『レ・ミゼラブル』は岩波文庫などの翻訳があります）で予め読んでおくとわかりやすいと思います。

教科書(村田京子『娼婦の肖像』新評論)は第一回目の授業の時に教室で販売いたします。

講座番号:4 「日本書誌学A」 西田 正宏 准教授

江戸時代に刊行された版本を中心とする書誌学について講義します。基礎的な知識を概説した後、本学の所蔵する版本の書誌カードを作成する実習を行います。実習は人数の関係で、分けて行う可能性(実習以外の人は休講になります)がありますのでお含みおきください。

講座番号:5 「日本古代文学A」 村田 右富実 教授

【神亀五年(728)の万葉歌】

神亀五年の万葉歌について論じる。この年、藤原氏待望の皇子がわずか一歳で薨去し、長屋王派と藤原氏派との緊張は高まっていた。一方、長屋王派の一翼を担っていたと思われる大伴旅人は大宰帥として九州にあった。この大宰府への赴任(前年か)は、左遷だったともいわれ、また、赴任後間もなく妻を亡くしたこともあり、旅人にとっては辛い時間であったろう。しかし、万葉史という観点からいえば、西下した旅人は筑前国守だった山上憶良と邂逅し、二つの個性の接触は万葉集に豊かな実りを残したことになる。

本年の講義では、神亀五年に筑紫で詠まれたと思われる歌々を中心に論じるが、時間があれば、同年に畿内で歌われた歌々にも触れる。そして、これらの歌々を個別に読み進めることを通じて、万葉史の一部を構想してゆく。

講座番号:6 「現代文学思想A」 萩原 俊治 教授

新潮文庫の『カラマーゾフの兄弟』(上・中巻)を読みながら、人生は空漠たるものであるのか否かについて論じてゆきます。講義では、まず「碎かれた心」とは、どのような事態なのかを述べてゆきます。「碎かれた心」とは、ドストエフスキイがその生涯にわたって深い影響を受けたフランスの思想家パスカルの『パンセ』に出てくる言葉です。これはドストエフスキイを理解するためにもっとも重要な概念です。「碎かれた心」とは「自分は何の価値もない人間だと絶望すること」です。言い換えると、ある不幸な出来事をきっかけに、自分をこれまで支えてきた自尊心あるいはプライドが、こなごなに碎かれてしまうことです。「碎かれた心」を持った人の運命は二つに分かれます。ある人々は「碎かれた心」を持つことによって、神の存在に気づき、回心し、他者への奉仕に向かいます。一方、ある人々は、「碎かれた心」を持つことによって、絶望し、回心できないまま、生きている希望を失います。また、このいずれにも属さない人々、「碎かれた心」を持つことがないまま生きてゆく人々もいます。心しなければならないのは、この三つの生き方に優劣はないということです。ドストエフスキイ後期の作品、とくに『カラマーゾフの兄弟』にはこの三種類の人々が登場します。この三つの生き方について、受講生と共に考えてゆきたいと思います。受講生の理解の程度に合わせて授業を進めます。むつかしすぎて受講生の理解があまり進まない場合、授業の進度を遅らせます。授業では、あらかじめ『カラマーゾフの兄弟』のテキストの内容を問う質問を受講生に配布し、家で考えてもらいます。授業はその質問にそって質疑応答を繰り返しながら授業を進めます。

講座番号:7 「教育の思想と歴史」 小股 憲明 教授

西洋近代における公教育思想と公教育の成立・発展過程の理解の上に立って、近現代日本における公教育の創始・確立・発展の歴史を、初等教育、中等教育、高等教育の順に、女子教育の発展にも留意しつつ、理解することを目標とします。

1. はじめに～ガイダンス
2. フランス革命期の公教育思想と欧米における公教育の成立と発展
3. 近代の前提としての江戸時代の教育～藩校と寺子屋、私塾
4. 義務教育の成立と発展～明治5年「学制」から昭和54年養護学校義務化まで
5. 中等教育の成立と発展～中学校と高等女学校から戦後新制高等学校へ
6. 高等教育の成立と発展～国家主義のエリート教育から戦後の大衆化まで
7. 社会教育～国民教化から市民の自己教育へ
8. おわりに～現代日本の教育的達成と教育改革の動向

なお、教科書は使用せず、毎回小股作成のプリント教材を配布します。参考文献は授業の中で指示します。

講座番号:8 「文化形成論入門4」 萩原 弘子 教授

文化の形成を論じる視点の基礎をお話しします。私たちは「フランスの文化」「イギリスの文化」というように、国家を単位として文化を見ることがあります。しかし文化は、国家のなかではどこも一様というものではありません。また国家の境界を越えて文化的連続性や一体性がある場合もあります。本講では、西洋世界における近代国家が理念としてかかげた文化的一元性、また植民地統治方法としての文化的同化主義をふりかえりながら、文化と国家の関係を考えてみます。具体的にはスペイン、イギリス、フランスの国家による言語をめぐる文化政策に焦点をあて、現実の多言語状況と、国家による一元化政策の矛盾について講じ、批判的視点を培うことをめざします。

大阪府連携セミナー 『人間社会学部 授業公開講座(前期)』

この授業公開講座は、生涯学習の一環として、大学の研究成果を広く地域社会に還元するとともに "アクティブシニアがあふれる大阪構想"の実現をめざして、本学と大阪府が連携実施するものです。

本学の授業科目の一部(8講座)を府民の皆さんに公開し、受講者は学生とともに授業を受けていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆ 開講期間 平成21月4月8日(水)～7月31日(金) 8講座各15回 (予定)
※授業公開講座終了後(8月上旬)受講生交流会を開催します。
- ◆ 講座会場 大阪府立大学 なかもずキャンパス 各教室
〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
南海高野線「白鷺」駅下車 徒歩15分
地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車 5番出口 徒歩20分
JR阪和線「三国ヶ丘」下車北野田駅行 バス15分「府立大学前」下車
※車・単車での来学はできません。
- ◆ 受講資格 中高年・シニア層(大阪府内にお住まいの方、通勤・通学されている方)を対象とします。学習や生きがいづくり、地域活動への意欲があり、全期間を通じて受講できる方。
- ◆ 申込締切 平成21年3月10日(火)《必着》
- ◆ 申込方法 ①ご希望の講座名②氏名(ふりがな)・年齢③郵便番号・住所④電話番号をご記入の上、「ハガキ」又は「Eメール」で下記の申込先へ
※携帯電話でのお申し込みはできません。
- ◆ 申込先 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
大阪府立大学 エクステンション・センター「大阪府連携セミナー」係
TEL 072-254-9942
E-mail:sinia1@ao.osakafu-u.ac.jp
- ◆ 受講者の決定 申込者が多数の場合は、抽選で受講者を決定します。
結果については、全員に通知します。
受講者を対象にした事前説明会[4月3日(金)午後]を予定しています。
- ◆ 受講料 1講座 3,000円
※ 受講料のお支払いは、開講前の事前説明会時にお支払いただきます。
なお、一旦お支払いただいた受講料は、一切返金いたしません。
- ◆ 個人情報の取り扱い お申込の際の個人情報は、本学公開講座等に関する事務連絡以外の使用は一切いたしません。